

令和6年度第1回 協力病院連絡会議(報告)

日時:令和6年7月9日(火)
16:00-17:30 Zoom 会議

出席者:清水卒後臨床研修センター長
森医学教育部門長
上條臨床研修部門長
吉澤臨床研修部門員
教育協力病院および臨床研修関連の34病院
外部委員:信州 SP 会 白澤和子代表



清水卒後臨床研修センター長の挨拶により開会し、森医学教育部門長が進行を担当した。

1. 令和6年度選択臨床実習学生による感想・・・資料No.1

資料に基づき説明があった。4月から6月までの学生の感想を記載しており、「実習でもう少しやってみたかったこと、勉強したかったこと」の記載内容について、可能な範囲でご対応いただきたいと依頼があった。

2. クリニカルクラークシップⅡにおける担当症例数について・・・資料No.2

資料に基づき説明があった。コロナが収まってきてはいるがコロナ前と比較し外来患者数が少ない印象のため、4月～6月の選択臨床実習では、学生の実情の踏まえ入院・外来を含め3症例程度の担当患者を、学生に経験させていただきたい旨依頼があった。

3. 令和6年度「150通りの選択肢から成る参加型臨床実習」コースについて・・・資料No.3-1.3-2.3-3

資料に基づき説明があった。昨年度のコースを維持しながら、各協力病院の要望と、学内教室との調整でコースを作成している旨説明があり、確認の依頼があった。また、令和6年度は学生数が100名程度のため、約50コースは選ばれない旨説明があった。

4. 2023-2024年度 クリニカルクラークシップⅡ卒業生への面談結果・・・資料No.4

資料に基づき説明があった。質問事項として①本学のカリキュラムから学んだことが生きているか、②学生生活は満足だったかという質問に対して概ね満足だったこと、来年度以降も引き続き面談を行っていく旨説明があった。

本会議に引き続き卒後臨床研修管理委員会を開催した後、参加した全病院からコメントをいただいた。挙げられた主な意見・要望は以下の通り。

- ・ 最近みんな熱心に取り組んでくれており、学生の傾向も変わってきた印象がある。感想等、今回フィードバックがあるので取り入れていきたい。
- ・ 臨床実習生の配属が、研修医の刺激になっていて研修の成果が上がっているように感じる。臨床実習生の配属を検討していただきたい。
- ・ 教えることに対する労力がかかることもあるが、若い先生がいてくれると病院としても活性化するので、今後も派遣いただきたい。
- ・ モチベーションが低い学生もいるが、真面目な学生も多いと感じる。
- ・ 150通りで派遣してもらって、病院に活気が出て良いと感じている。

その後、外部委員としてご参加の信州 SP 会代表の白澤様より、「先生方の日々の熱心な指導には頭が下がる思いである。先日の臨床実習後 OSCE の医療面接で模擬患者をやった際、本当に診察を受けているような感覚もあった。7月・9月に OSCE もあるのでご指導いただきたい。」との講評をいただいた。

清水卒後臨床研修センター長の閉会の挨拶を以って閉会した。

以上